

徳山工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	歴史
科目基礎情報					
科目番号	0005		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	_一般科目		対象学年	1	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	『高等学校 改訂版 世界史A』(第一学習社) / 『グローバルワイド 最新世界史図表 改訂23版』(第一学習社) / 『学習事項の整理と作業 改訂版 世界史Aノート』(第一学習社)				
担当教員	柏倉 知秀				
到達目標					
(1) 日本を含む世界の様々な生活文化、民族・宗教などの文化的諸事象について、歴史的または地理的観点から理解できる。 (2) 国家間や国内で見られる、いわゆる民族問題など、文化的相違に起因する諸問題について、地理的または歴史的観点から理解できる。 (3) 文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理解できる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
	日本を含む世界の様々な生活文化、民族・宗教などの文化的諸事象について、歴史的または地理的観点から説明できる。		日本を含む世界の様々な生活文化、民族・宗教などの文化的諸事象について、歴史的または地理的観点から理解できる。		日本を含む世界の様々な生活文化、民族・宗教などの文化的諸事象について、歴史的または地理的観点から理解できない。
	国家間や国内で見られる、いわゆる民族問題など、文化的相違に起因する諸問題について、地理的または歴史的観点から説明できる。		国家間や国内で見られる、いわゆる民族問題など、文化的相違に起因する諸問題について、地理的または歴史的観点から理解できる。		国家間や国内で見られる、いわゆる民族問題など、文化的相違に起因する諸問題について、地理的または歴史的観点から理解できない。
	文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを説明できる。		文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理解できる。		文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理解できない。
学科の到達目標項目との関係					
到達目標 A 2					
教育方法等					
概要	経済や情報の分野で進む国際化やグローバル化に対応できるように、また、世界市民の一員として国際社会における相互理解に必要とされる諸外国の歴史的背景について講義する。				
授業の進め方・方法	大量に板書する予定なので、自分できちんとノートを取ることを。基礎用語の確認のため、小テストやプリントの提出を求められることがある。				
注意点					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション ユーラシアの諸文明	授業の進め方と評価方法について説明 東アジア1	
		2週	ユーラシアの諸文明	東アジア2	
		3週	ユーラシアの諸文明	南アジア	
		4週	ユーラシアの諸文明	東南アジア	
		5週	ユーラシアの諸文明	西アジア	
		6週	ユーラシアの諸文明	ヨーロッパ	
		7週	ユーラシアの諸文明	アフリカ	
		8週	ユーラシアの諸文明	アメリカ	
	2ndQ	9週	中間試験	上記の内容から出題する	
		10週	前期中間試験の解答・解説 結びつく世界	試験の解答と解説 東アジア1	
		11週	結びつく世界	東アジア2 東南アジア	
		12週	結びつく世界	内陸アジア 南アジア	
		13週	結びつく世界	西アジア 大航海時代	
		14週	結びつく世界	アメリカ大陸の変容 ルネサンスと宗教改革	
		15週	期末試験	10回～14回の内容から出題する	
		16週	答案返却など	試験の解答と解説	
後期	3rdQ	1週	結びつく世界	ヨーロッパ主権国家体制 近世ヨーロッパ諸国	
		2週	結びつく世界 欧米の工業化と国民形成	世界商業の展開 科学革命と啓蒙思想	
		3週	欧米の工業化と国民形成	産業革命 労働運動と社会主義	
		4週	欧米の工業化と国民形成	アメリカ独立革命 フランス革命	
		5週	欧米の工業化と国民形成	ナポレオン 大西洋革命	
		6週	欧米の工業化と国民形成	ウィーン体制 イギリスの繁栄	

4thQ	7週	欧米の工業化と国民形成	二月革命と第二帝政 イタリアとドイツの統一
	8週	中間試験	後期1回～7回の内容から出題する
	9週	後期中間試験の解説・復習 欧米の工業化と国民形成	試験の解答と解説 ロシアの近代化とバルカン半島
	10週	欧米の工業化と国民形成 アジア諸国の変貌	アメリカ合衆国の膨張 世界市場の形成
	11週	アジア諸国の変貌	西アジア 南アジア
	12週	アジア諸国の変貌	東南アジア 東アジアと日本
	13週	帝国主義の時代	帝国主義 列強の世界政策
	14週	世界戦争	第一次世界大戦 ロシア革命
	15週	期末試験	後期9回～14回の内容から出題する
	16週	答案返却など	試験の解答と解説

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会 地歴	日本を含む世界の様々な生活文化、民族・宗教などの文化的諸事象について、歴史的または地理的観点から理解できる。	1	
			国家間や国家内で見られる、いわゆる民族問題など、文化的相違に起因する諸問題について、地理的または歴史的観点から理解できる。	1	
			文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理解できる。	1	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0